

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画マスタープラン進行管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	01	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	都市計画課			
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市全域	意図	次期総合計画と計画内容について整合を図るとともに、土地利用や社会情勢の変化に対応するため、改定を行う。
事業内容	都市の現況調査及び現行計画の評価を行い、まちの将来都市像や整備方針を定める。市民参加条例に基づき、市民の意見を取り入れながら、令和元年度の策定を目指し、都市計画マスタープランの改定を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年2月21日策定 平成28年12月21日改定			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の割合	79.50	81.10	82.90	%	↑↑	まちづくり達成度アンケート
②	これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	81.50	81.0	83.0	%	↑↑	まちづくり達成度アンケート	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,908,200		9,454,000				
事業費(b)(円)		6,043,200		2,862,000				
うち一般財源		6,043,200		2,862,000				
職員給与費(c)(円)		6,865,000		6,592,000				
人役・職員(人)		1.00		1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								
<ul style="list-style-type: none"> 【平成30年度】 ・計画条件の整理 ・都市の現況調査 ・現行計画の評価 ・改定の方向性の評価 								
<ul style="list-style-type: none"> 【令和元年度】 ・都市の現況調査 ・現行計画の評価 ・計画素案の検討・作成 ・計画原案の検討作成 ・市民参加、庁内会議の運営 								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	現行計画の評価を行うにあたり、都市の現況調査や計画条件の整理を行う。	③取組における課題(Check)	現行計画の評価方法や市民参加の手法について引き続き検討を要する。
②H30に実施した取組(Do)	都市の現況調査等を実施し、現行計画の評価方法や市民参加の手法について検討を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	平成31年度は、現行計画の評価等について、市民への周知を図り、市民意見の集約に努める。